福岡市 Well-being & SDGs 登録制度:マスター

事業者名	西鉄情報システム株式会社
代表者名	是木 信幸
所在地	812-0044 福岡市博多区千代四丁目 1 番 33 号
電話番号	092-645-2525
ホームページ	https://www.nishitetsu.ne.jp/nis/

		のある職場づくり」をサステナ)内容に取り組んでいます。	ブル経営における重要課題									
	社員の多様性を尊重し、働く喜びや生きがいが実感できる「人を活かす経営」											
	を行うこと											
Well-being 向上	一人ひとりが意欲を高め、能力を発揮して新たな価値や革新を生み出せるよ											
に向けた取組み	う、人材の育成・活躍推進に取り組むこと											
		アンケートの										
アンケート実施	O	社内共有	O									

SDGs達成に向けた取組みチェックシート(グループ会社:西鉄情報システム株式会社)

			該	当					関連する主なSDGs												
カテゴリ	チェック項目	環境	± :	経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	' 8	9	10	11	12	13	14	15 1	6 17
人権・労働	【ダイパーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境が整備されている。				・年齢や身体の状況に関わらず多様な人材が活躍できる職場 づくりを促進している。 ・「マスター社員制度を整備し、定年退職者(高齢者)を積極的 に採用している。 ・ヘルスキーパーを導入し、視覚障がい者の就業機会を整備している。																
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。				・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を 導入するなど、柔軟な動務形態をとっている。 ・「育児休業規則」、介護休業規則、などを制定し、介護、子育てと仕事の 両立を支援する制度を導入している。					0											
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。				・「西鉄グループホットライン」「グループ会社独自の内部通報窓口」を設置し、バラスメントに対する相談窓口を設置している。 ・人権問題やバラスメントの防止について研修を実施している。																
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・接講員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。				・長時間労働を是正するための具体的な取組みを行っている。 ・メンタルヘルスに関する研修を実施している。 ・パントレスチェック制度実施規則、を制定し、社員、準社員、契約社員、ア ルパイト等、会社の業務に従事するすべての者(以下「従業員等」という) を対象にストレスチェックを毎年実施している。					0											
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を 提供している。				·研修の受講奨励や研究機関への派遣を行っている。 ·将来の人材育成を目的とした教育訓練制度がある。					0											
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に 努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。				・古紙、金属缶、ガラスびん、ブラスチック、電池等について、 分別回収ポックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している。 ・使用できなくなったパソコン、サーバ、什器はグループ会社に産業廃棄物の処理を依頼している。																
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、 温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。		•	0	・クール/ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率 的な利用を行っている。 ・LED照明を導入している。																
崇	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与える か確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。		•	0	・コピー用紙の使用量を削減している。 ・森林認証PEFC認証製品であるコピー用紙を使用している。																
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。				・従業員等への節水の呼びかけや節水型機器を設置するなどして、節水に努めている。																
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための 仕組みを構築している。				・品質向上会議を行っている。 ・製品、サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を 実施している。 ・提供するサービスの質を確保するため、アンケートの実施などにより顧客の意見を聞いている。																
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナー シップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開 に取り組んでいる。				・若手中心の横断プロジェクトを通じて、社会課題を解決する製品・サービスの開発研究を行っている。																
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。				・個人情報などの保護に関する方針を策定している。 ・社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底している。 ・情報システムへのセキュリティ対策を施している。 ・ISMS、PMS活動を通じて安全性向上、リスク低減に努めている。																
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する 体制・仕組みが整備されている。				・「コンプライアンス方針」を制定し、研修を実施するなど法令 遵守の重要性を従業員等に発信している。 ・「コンプライアンスセルフチェック、83年毎に実施し、法令 遵守が確実に行われるようにモニタリングしている。																
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。				・経営理念を明文化している。 ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念・経営目標を社員に説明し、 共有している。																
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生のおける事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。				・事業継続計画(BCP)を策定している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。																